まなびだより

梅若小学校　校長　安藤芳典
巡回拠点「うめわか」
直通　03(3614)0788

９月号
令和８年９月１４日発行



４５日間の夏休みが終わりました。台風や気候の変動が激しい中でしたが、いかがお過ごしでしたでしょうか。夏休みの生活を通して、いろいろな変化が見られたと思います。お子さんの成長、気になることや変わったことなどがありましたら、ぜひ連絡ファイルや前期末の個人面談の際に担当までお伝えください。

７日から夏休み明けの「まなび」の指導が始まりました。夏休みの出来事や挑戦したこと、思い出に残っていることなど、どのような夏休みを過ごしたのかを聞きました。いろいろなことを話している様子から、夏休みの様子が伝わってきました。

【９・１０月の予定】

９月２８日（月）～１０月１４日（水）保護者面談期間
１０月７日（水）　前期指導終
１０月１５日（木）後期指導開始
１０月１７日（土）隅田小・二寺小運動会
１０月１９日（月）隅田小・二寺小振替休業日

【個人面談について】

９月２８日（月）から１０月１４日（水）にまなびの教室の個人面談を予定しております。詳しい日程については、個人面談決定通知のお知らせ（別紙）を見て、日程の確認をお願いします。面談は、期末報告書をもとに子供たちの学習の成果や課題、来年度に向けての方向性などについて話し合います。よろしくお願いします。面談の場所は梅若小学校です。

コラム：子供の「できた！」を増やす関わり

～『早くして』より、次の一歩が見える声掛けをしてみる～

普段の生活の子供とのやり取りの中で、どうしたら良いのか、どうしたら良かったのかと悩むこともあるかと思います。少しでも参考になればと思い、書かせていただきました。

方法１：親子で約束を共有する

理解の仕方や注意の向きやすさ、得意なことは一人一人違うため、その子の困りごとに合った環境を整えることが出発点となります。例として、時間を守れない子供の中には、時計を読めないのではなく、今止める理由が理解できていない子もいます。方法として、子供が納得できるルールを一緒に作る。理由も確認したり、大人の行動とセットで示したりすることも効果的です。親も約束を守ることで納得感が生まれるでしょう。

方法２：行動を小さく分ける

朝の支度など具体的な行動が分かれば取りかかれることがあります。行動を本人が理解しやすい文字や絵などで順番を示すと分かりやすくなります。全部できたら『ご褒美シール』を貼る方法もあります。できなかった時には、「次頑張ろうね」と声を掛けたり、仕組みを見直してみたり、できるところから始めたりすると良い方法が見つかるかもしれません。

方法３：予定変更はまず知らせる

急な変更は大人であってもストレスを感じてしまったり、戸惑ったりしてしまいます。そのうえで、変更が分かった時点で、『今日は公園で遊ぶ予定だったけれど、雨なので図書館に行くよ。』のように何が何に変わるのかを具体的に説明したり、紙やホワイトボードなどで視覚的に説明したりするとより伝わりやすくなります。

参考書籍：『こどもの発達障害　僕はこう診てきた』　平岩　幹男　著